

信州Fパワープロジェクトへの対応は!?



清風クラブ
ひらま まさじ
平間 正治

その他の
質問事項

- ▼ 第六次塩尻市総合計画と重要施策について
- ▼ 令和4年度決算について

◆信州Fパワープロジェクト事業支援について

問 去る8月9日、信州Fパワープロジェクトの

事業主体が行き詰まり、事業再建のため民事再生手続きを申し立て受理された。市長はマスコミの取材に「県との連携を更に強化し、前に進めて行く。」と答えているが、その真意を説明いただきたい。

答 本プロジェクトの推進によって、水源涵養機能など森林の持つ多面性が保持増進されることにつながる。また、地域林業などの再生を目指す本市のあるべき姿を見据えた、いわば「百年の計」である。これまでの立場や姿勢を変えることなく、強い信念をもってこれを推進してまいりたい。
(市長・農林課)

◆具体的対応策について

問 事業主体が行き詰まったのは、発電用木材の

不足ということである。積極的に支援していくということだが、この木材の確保について具体的な対応策はあるのか。

答 現時点で発電用木材確保のための具体的な対応策はない。
(市長・農林課)

◆市への影響について

問 事業用地は市有地であるが、事業用定期借地契約を結び、年間2千3百万円の借地料となっている。この借地料をはじめ、他に市の不利益となることはあるのか。

答 事業用地賃借料は、事業継続のための共益債権として確保される。他に市の不利益となることは現時点においては無い。
(農林課)



木質バイオマス発電所

市民目線で課題に継続して取り組む行政運営



政進会
おの よしゆき
小野 芳幸

その他の
質問事項

- ▼ SHIOJIRI Free Wi-Fi について
- ▼ 太陽光発電設備の適切な設置について

◆信州Fパワープロジェクトについて

問 本プロジェクトの中核である征矢野建材が、この8月に民事再生手続き開始となり、現在、再生計画策定中である。これまでの塩尻市の関与と事業継続にあたっての取り組みはどうか。

答 市では、事業用地の提供や地元調整などを担い、令和4年度末までに、道路整備費として、約7億円を投じた。また、市内素材生産量増加、事業体数のアップ、塩尻市森林公社の立ち上げ、運材の負担軽減等、発電用燃料の増産対策として、様々な取り組みを積極的に展開した。今後は、県が設置する検討チームや連絡会議などで関係団体と積極的な情報交換を図り、対応を検討していく。
(市長・副市長・農林課)

◆災害時の行動について

問 自治会組織に加入しない世帯の安否確認は。安否確認が困難であるのが実態であるが、共助の取り組みとして、区への加入・未加入に関わらず、安否確認の協力をお願いしている。

答 制度開始からの自主返納の状況は。「制度がわからない」「使う機会がない」という理由で14人。今年度になってから、「制度やカードのセキュリティが不安」という理由で11人、計25人の返納があった。
(市民課)

◆マイナンバーカードについて



木質バイオマス発電所